

製品安全データシート (MSDS)

作成 2012年4月10日

追記 2021年6月10日

製品名 焼成もみ殻炭

物質の特定 単一製品
 会社名 有限会社プロス
 住所 長野県伊那市高遠町東高遠 1 6 5 8 - 1

製造工場 有限会社プロス 長野工場
 同 秋田工場
 同 新潟工場
 住所 長野県伊那市高遠町東高遠 1 6 5 8 - 1
 Tel 0265-94-4876 fax 0265-94-4093
 秋田県由利本荘市中田代字下モ畑 8 9 - 1
 Tel 0184-62-3930 fax 0184-62-3931
 新潟県上越市三和区井ノ口 1 9 0 3 - 1
 Tel 025-5207482 fax 025-520-7483

緊急連絡先 長野工場 鈴木 伸弥 070-4025-2682
 秋田工場 蔵谷 順一 080-9542-1815
 新潟工場 藤井 理恵 090-5396-0436

成分表

成分	含有率
二酸化ケイ素 SiO ₂	49.9~55.9%
炭素 C	31.9~37.9%
酸化マグネシウム MgO	0.11~0.19%
酸化カルシウム CaO	0.19~0.29%
水分率 (製鉄向け)	≤0.1%
水分率 (農業向け)	≤0.1~3.0%

危険有害性の要約

GHS 分類：分類できない（データ不足により分類判定できない）

GHS ラベルの要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

応急措置

吸引した場合

新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

水および石鹼で洗い流す。ただし、痛み、かゆみ等の症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

清浄な水で最低 10 分間目を洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、医師の処置を受ける。

火災時の措置

消火剤

水噴霧 または粉末消火薬剤

特有の危険有害性

燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙等を吸入しないよう注意する。

特有の消火方法

消火作業は風上から行い、周辺火災の場合は、移動可能な製品は速やかに安全な場所に移動する。
火災発生場所の周辺には関係者以外の立入を禁止する。
鎮火後も 48 時間以上監視し、燃焼熱を確認する。
消火を行う際、適切な防護具（手袋、マスク、眼鏡）等を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意 処理を行う際には、防護具（手袋、マスク、眼鏡）等を用
用
する。

環境に対する注意 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさ
ないように注意する。

浄化の方法 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。
真空で吸いとるなど、粉塵が飛散しない方法で掃き集め
て、
密閉できる容器に回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

発散した粉塵を吸い込まないようにする。
保護手袋及び保護眼鏡等を着用する。
高温・スパーク・火気などの近くから遠ざける。

換気・排気

局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。

保管

技術的対策

直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
高温・スパーク・火気などの近くから遠ざける。

適切な保管場所

混触危険物質、火源の近くに保管しない。

物理的及び化学的性質

外観 黒色の粒状及び粉末
臭い 無臭
燃焼性 あり

比重 0.08kg／リットル～0.1kg／リットル
溶解性 水に不溶

安定性及び反応性

安定性 通常の取扱い条件において安定。
避けるべき条件 混触危険物質、火源との接触。
危険有害な分解成生物 一酸化炭素、二酸化炭素

有害性情報

皮膚腐食性・刺激性 皮膚を刺激する可能性がある。
目に対する刺激性 目を刺激する可能性がある。

環境影響情報

土壌の移動性 物理化学的性質からみて、大気・土壌に移動する可能性がある。

廃棄上の注意

残余廃棄物 都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
包 装 包装を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後処分する。

輸送上の注意

国際規制 当該法令なし。
国内規制 当該法令なし。
輸送の特定の安全対策及び条件
輸送前に包装の破損、腐食、漏れ、湿気等がないことを確認する。
転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

適用法令

消防法 指定可燃物

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。

【改定】

2021. 6. 10 製造工場 新潟工場追記
成分表 水分率追記
各項目 表示範囲記載に訂正